

# 令和4年度 野木町立佐川野小学校グランドデザイン

## <経営理念>

- 1 児童にとって、安心かつ安全な学校づくり
- 2 一人一人の児童の「学び」を保証する学校づくり
- 3 教職員が共に学び、共に育ち合う学校づくり
- 4 児童、保護者、教職員、地域が誇りにできる学校づくり

## <学校教育目標>

「訓蒙館の伝統を受け継ぎ、夢や目標をもってたくましく生きる子ども」  
 ・よく学び 自ら考える子ども ・やさしく 思いやりのある子ども ・よく遊び 元気な子ども

- ・児童の実態
- ・保護者の実態
- ・地域の実態
- ・保護者や地域の願い
- ・学校運営協議会
- ・野木中学区 CS 「響き合う心」

- ・学校評価
- ・各種調査
- ・反省等

前年度に改善点を検討し仮説を立てる。

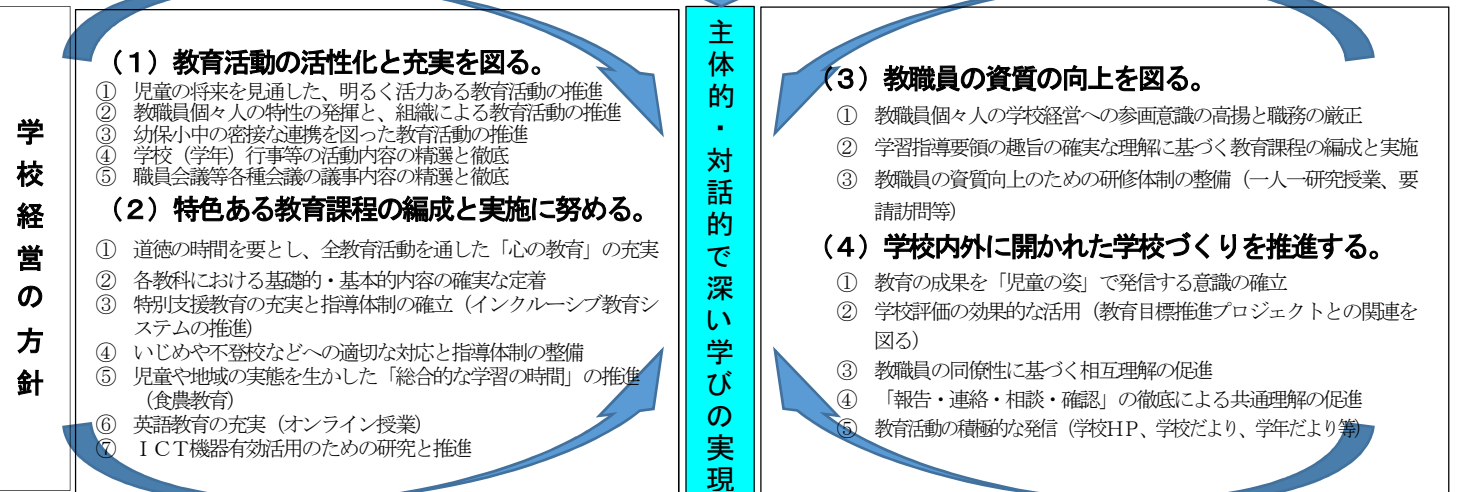
- ・日本国憲法・教育基本法
- ・学習指導要領
- ・栃木県教育振興ビジョン
- とちぎに愛情と誇りをもち未来を描きともに切り拓くことのできる心豊かでたくましい人を育てます。
- ・下地区学校教育の重点「学ぶ力」「豊かな心」「健康やかな体」を育む学校づくりの推進
- ・野木町教育大綱「学びの連続性のための幼保小中連携強化」「言葉指導の充実」「ICTを活用した教育の充実」

**P** <めざす子ども像>  
 自ら考え、人とつながり、目標に向かって挑戦し続ける子

<めざす学校像>  
 ・子どもたちが、この学校で学べてよかった  
 ・保護者が、この学校に子どもをあずけてよかった  
 ・教職員が、この学校に勤務できてよかった  
 ・地域の方が、この学校が地域にあってよかった  
 と思う学校

<めざす教職員像>  
 自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師  
 ・人間性豊かで信頼される教職員  
 ・児童一人一人の豊かな自己表現を支援する教職員  
 ・特性を発揮し、確かな指導力をもった教職員  
 ・教育的愛情と使命感をもった教職員

<児童の合い言葉>  
 かがやく自分を育てよう!



## <今年度の重点・努力点> 「どの児童にも『学び』が成立する授業づくり」の推進

「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」「何を学ぶか」「何が身に付いたか」

『学力UP』 よく考え自ら考える子ども	『心力UP』 やさしく思いやりのある子ども	『体力UP』 よく遊び元気な子どもの育成
☆基礎学力や表現力の育成、主体的な学習習慣を身に付けさせる。 ◎「言葉指導」の充実 ◎「主体的・対話的で深い学び」のある授業の工夫・改善 ◎食農教育の取組 ◎ICT機器の有効活用(プログラミング教育) ◎英語教育の充実(オンライン授業) ◎学力調査(全国、とちぎっ子等)の結果分析と指導の改善	☆基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、児童理解に努め、一人一人の子どもが安心して学校生活を送ることができるようにする。 ◎道徳教育の充実 ◎一人一人を大切に温かな学級づくり ～いじめ撲滅を目指して～ ◎時と場に応じたさわやかなあいさつの励行(伝わるまで) ◎読書活動の推進(読書ノートに積み重ねる) ◎心に響く児童指導 自力解決できる判断力と実行力の育成	☆健康を意識させて、健やかでたくましい体をつくらせる。 ◎めあてを明確にした体力づくり(生涯スポーツ) ◎健康で安全な生活習慣の育成と地域とともに安全対策 ◎食育の推進と感染症の予防(コロナ対応) ◎保護者や地域と推進する安全対策

**D**

<学校課題> 「自分の思いや考えを表現できる児童の育成」～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを通して～

<教職員の働き方改革> ◎学校・学年行事の見直し ◎諸会議の内容の精選 ◎データの共有 ◎協働体制づくり  
 ◎勤務時間管理(定時退勤や時刻を決めて退勤)

<家庭・地域との連携・協働> ☆コミュニティ・スクールによる、地域や保護者と共に子どもを育てる、地域に根ざした教育活動を実践する。  
 ●地域と共に行う行事(ふれあい大運動会、佐川野っ子祭り、さつまいも苗植え、田植え・稲刈り、トマト栽培等)◎学校運営協議会や保護者、小規模特認校推進会議からの意見を反映させた学校経営●学校公開(授業参観、学校行事、個人面談、親子奉仕活動 他)●情報収集と発信(PTA 総会での方針等の説明、学級懇談会、各種たより発行、ホームページでの発信)●ボランティア等による登下校の見守り●佐川野分館、自治会等外部組織との連携●民生委員、主任児童員との懇談会●学校関係者評価の実施と報告